

パラ競技がくれた喜び

別府礼子さん講演

広島文化学園大坂キャンパス（広島県坂町）で「パラアスリート講演会」があった。

「2019ジャパンパラ陸上競技大会」の「F34」というクラスのやり投げ、円盤投げ、砲丸投げで優勝した別府礼子さんが、「私に勇気をくれた人たち」と題して話した。

と題して話した。

初級パラスポーツ指導員

を目指す人間健康学部の

1、3年生約260人が参

加。別府さんはまず、脳性

まひによる体幹機能障害に

より、体幹を支えることが

難しく、手足などにしびれや、こわばりが起こる自身の障害について話した。

リハビリで始めた水泳が



きっかけで、できることが増えていく喜びから、さまざまな競技や種目に挑戦するようになった、とスポーツとの出会いに触れた。

指導者との練習を重ね、

大会で目標が達成できた時、家族も喜んでくれたとの思いも紹介。学生たちに「パラスポーツ指導員が選手を支えるということ、選手とその家族も支えることになる。（選手と）ともにパラスポーツを楽しむんでほしい」と呼びかけた。

「私に勇気をくれた人たち」と題して講演する別府さん（奥）